

粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】

(会場およびオンラインによるハイブリッド研修)

— 粉じん爆発・火災に関し、初めて研修を受ける方
並びに基本から系統的に学びたい方を対象としています —

日時： 2026年9月2日(水)～3日(木)【2日 9:30～17:55 交流会 18:30～20:00, 3日 9:00～17:15】

会場： 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館 6階会議室

講師： 東京理科大学	土橋 律 氏
(公社) 産業安全技術協会	山隈 瑞樹 氏
(株) 環境衛生研究所	飯田 英樹 氏
(株) S L 経営	蒲池 正之介氏
ホソカワミクロン(株)	小松 信幸 氏
(株) 大川原製作所	飯田 晃弘 氏
赤武エンジニアリング(株)	鈴木 政和 氏
(独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	八島 正明 氏
住友化学(株)	太田 潔 氏
(株) 日清製粉グループ本社	濱田 美明 氏
味の素(株)	土屋 仁志 氏
味の素(株)	大島広太郎 氏
B S & B セイフティ・システムズ(株)	那須 貴司 氏
日本フェンオール(株)	荻原 迅 氏

可燃性粉じんの製造・使用においては、往々にして粉じん爆発・火災の危険性が伴います。万一、このような事故が発生すると、単に人的被害や生産施設等の損壊にとどまらず、生産活動の停止などによってサプライチェーンが混乱するなど、社会全体に影響を及ぼし、企業の社会的責任が厳しく問われる事態にもなりかねません。しかし、企業においては、そもそも「何をどうすれば粉じん爆発・火災が防止できるか」、「どのように社員教育を行えばよいか」など、お困りの点が多々あるかと拝察いたします。

「粉じん爆発・火災安全研修」は、そのような要請に応じて、現場作業や技術者はもとより、広く一般社員の安全に対する知識や実践力を高めるため、粉じん爆発防止のための基礎を系統的に学ぶ機会を提供するものです。【初級/基礎編】は、粉じん爆発・火災の予備知識のない方でも理解できるように、一般的かつ平易な講義内容となっています。また、【中級/技術編】は、より現場向けに実践的かつ高度な内容となっております。両研修を受講することで現場作業、管理者および技術者に求められる基本的知識全般を修得できるように構成されています。

初心者の方にも、これから系統的に粉じん爆発を学習されたい方にも、まずは【初級/基礎編】の受講をお勧めします。

本研修は、会場(対面) / オンライン(ライブ配信)のハイブリッド形式で開催いたします。なお、会場参加の場合、席数が限られておりますので先着順とさせていただきますことをご了承ください。

主催：一般社団法人日本粉体工業技術協会 粉体工業技術センター教育部門

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

企画：一般社団法人日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会

後援：公益社団法人産業安全技術協会

開催要領

日時：2026年9月2日(水) 9:30～17:55 (*現地参加者のみ 18:30～20:00 交流会)
3日(木) 9:00～17:15

プログラム

都合により講師・内容等、変更となる場合があります

※最新情報は協会ホームページにてご確認ください https://appie.or.jp/event_seminar/

◆ 1日目：9月2日(水) 9:30～17:55

9:30-9:35 開会挨拶 日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会 委員長 山隈瑞樹

① 9:35-10:05 粉じん爆発のデモンストレーション[1]

『粉じん爆発の恐ろしさの啓発』 東京理科大学 土橋 律
・ビデオ等の映像による粉じん爆発の脅威の体験

② 10:05-11:00 粉じん爆発の基礎知識[1]

『爆発現象と用語の理解』 東京理科大学 土橋 律
・ 燃焼の3要素
・ 粉じん爆発の発生要件
・ 粉じん爆発の特徴と注意点
・ 爆発/火災危険特性値(SDS危険性データとその見方)

<休憩 10分>

③ 11:10-12:20 静電気の発生と防止対策

『危険な静電気現象の理解』 (公社)産業安全技術協会 山隈瑞樹
・ 静電気の発生機構
・ 静電気放電の種類と着火性
・ 粉じん爆発事例
・ 静電気対策の基本

<休憩 60分>

④ 13:20-15:20 粉じん爆発のデモンストレーション[2]

『粉じん爆発の脅威の体験実習』
-1 ・ 爆発火炎の観測と爆発下限濃度の体験実習 (株)環境衛生研究所 飯田英樹
-2 ・ 放電の観測と着火能力の体験実習 (公社)産業安全技術協会 山隈瑞樹
-3 ・ 静電気の発生と危険性の体験実習 (株)S L経営 蒲池正之介

<休憩 10分>

⑤ 15:30-17:15 プロセスごとの危険性と安全対策

『各種工程における安全対策とヒヤリ・ハット』
-1 ・ 粉砕/分級工程と集じん/分離工程 ホソカワミクロン(株) 小松信幸
-2 ・ 混合/造粒工程と乾燥工程 (株)大川原製作所 飯田晃弘
-3 ・ 輸送/供給/排出/貯蔵工程 赤武エンジニアリング(株) 鈴木政和

<休憩 10分>

⑥ 17:25-17:55 総合質疑応答

18:30-20:00 交流会 講師、受講者間の意見交換等(現地参加者のみ)

◆ 2日目：9月3日(木) 9:00～17:15

⑦ 9:00-10:05 粉じん爆発の基礎知識[2]

『安全確保のための基本知識の修得』

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 八島正明

- ・粉じん爆発の概要・粉じん爆発
- ・粉じん爆発災害のリスク評価
- ・火災の危険性の評価
- ・被害の軽減対策

<休憩 10分>

⑧ 10:15-11:45 災害統計と事故事例からみた危険性

『統計資料及び事例解析による危険な状況の理解』

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 八島正明

- ・粉じん爆発と火災の発生状況
- ・粉じん爆発・火災の事例
- ・着火源となりやすい作業

<休憩 60分>

⑨ 12:45-13:55 粉じんの種類別危険性と安全対策

『業種別にみた安全対策とヒヤリ・ハット』

- | | | | |
|----|------------------|---------|-------|
| －1 | ・穀物／飼料／食用農水産物加工品 | 味の素(株) | 大島広太郎 |
| －2 | ・化学合成品／医薬原料 | 住友化学(株) | 太田 潔 |

<休憩 10分>

⑩ 14:05-15:15 防災安全推進体制と粉じん爆発安全対策への取組み

『実際の取組み例の理解』

- | | | | |
|----|-------------|---------------|------|
| －1 | ・日清製粉グループの例 | (株)日清製粉グループ本社 | 濱田美明 |
| －2 | ・味の素の例 | 味の素(株) | 土屋仁志 |

<休憩 10分>

⑪ 15:25-16:35 爆発防止・被害軽減対策

『対策技術・装置および設置事例の映像紹介による理解』

- | | | | |
|----|--------------------------|---------------------|------|
| －1 | ・爆発圧力放散設備(ベント)／消炎型爆発放散設備 | BS&B セイフティ・システムズ(株) | 那須貴司 |
| －2 | ・爆発抑制装置／爆発伝ば遮断装置 | 日本フェンオール(株) | 荻原 迅 |

<休憩 10分>

⑫ 16:45-17:15 総合質疑応答

参加申込要領

1.参加形式：現地または Web から選択いただけます。ただし、現地参加は 20 名様まで申込先着順とさせていただきます。

現地参加を選択された方

- ・会場でスクリーンにてご視聴いただき質問は口頭で行っていただきます
- ・1 日目終了後、講師との交流会(研修会場から徒歩約 10 分の東京ガーデンパレスホテル)にご参加いただけます

2.定 員：現地参加 20 名 Web 参加定員無し

3.参加料：web(いずれも 1 名様分、テキスト代、および消費税 10%を含みます)

現地(いずれも 1 名様分、テキスト代、昼食代、交流会代、および消費税 10%を含みます)

	Web 参加	現地参加
日本粉体工業技術協会会員で、 2026 年度特別協賛金納入の会員	26,150 円 内、消費税等 2,377 円	29,150 円 内、消費税等 2,650 円
日本粉体工業技術協会 会員	52,300 円 内、消費税等 4,754 円	55,300 円 内、消費税等 5,027 円
一 般	62,800 円 内、消費税等 5,709 円	65,800 円 内、消費税等 5,981 円

※テキスト「粉じん爆発・粉体火災の安全対策 ー基礎から実務までー」(2019 年 8 月オーム社刊)を研修で使用しますので、研修受講時は必ずご用意下さい。テキストが不要の場合は参加料から 5,000 円(内、消費税 454 円)を控除いたします。

※一日のみの受講は、受け付けておりません

※現地参加者が交流会欠席や昼食不要時の返金はございません

4.申込方法：

- ① 日本粉体工業技術協会のホームページからお申込みください。
<https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=funjin>
- ② 申込受け付け後、受理書を E-メールで送信いたします。
- ③ 参加料のお支払方法は、銀行振込またはクレジットカード決済となります。
お支払いいただいた参加料は返金できませんので、欠席の場合は代理の方のご参加をお願いいたします。
銀行振込：請求書に記載の口座へお振込みください。振込手数料は、貴社にてご負担願います。
クレジットカード決済：
決済用の URL をメールでお送りいたしますので、URL をクリック後、必要事項をご入力ください。ご決済確認後、領収証を発行いたします。
- ④ 支払い期日は振込・カードともに 2026 年 8 月 20 日 (木) までをお願いいたします。
- ⑤ 2026 年 8 月 8 日 (土) 以降のキャンセルは受付できません。

5.申込締切日：2026 年 8 月 7 日 (金)

6.配信について：web 参加者の方へ 8 月 27 日(木)までに視聴用 URL をお送りいたします。

配信映像の撮影・録音・録画・複数名での視聴はご遠慮ください。

オンデマンド配信はございません。

当日、講師へのご質問はチャットで受付いたします。

7.申込先・問合せ先：一般社団法人日本粉体工業技術協会 東京事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館 5 階

TEL：03-3815-3955 FAX：03-3815-3126 e-mail：funjin@appie.or.jp